

第5回 佐藤由紀さん (玉川大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第5回目は、佐藤由紀さん (玉川大学) にご執筆いただきました。

ずっとお芝居にかかわってきました。お芝居は「見えない他者」を巡る芸術です。知覚的には確かに「見えない」けれど、俳優の演技一言や身体によって、舞台上に「何か」が見えてくるとき、芝居はその本領を発揮します。人はそれを人間の創造／想像力と言い換えますが、そこで何が起きているか、を愚直に追求しています。

舞台上で何が起きているか、まだわかりません。けれど、何が起きているかを知るためには、舞台という白昼夢の時間だけではなく、演技する俳優の一週間、一年間、一生、そしてヒトという種の連続性を視野に入れるべきなんだということだけは、最近わかってきました。これからも「見えない他者」を巡る論議をつきつめていきたいと思っています。

佐藤由紀 (Yuki SATO) さん

【ご所属】 玉川大学リベラルアーツ学部

【ご連絡先】 yuki.sato@art.tamagawa.ac.jp

【その他】 生態心理学 (アフォーダンス)、発達心理学、認知科学、言語学といった分野の若手研究者や博士課程の学生さんたちと一緒に「舞台芸術や現代アートを心理学で斬るにはどうしたらいい!?」をテーマに勉強会をしています。奮闘してらっしゃる同志の方、関心のある方、是非ご連絡ください。異分野、異業種の方も大歓迎です。

次回のコラムリレーは、

今泉修 (Shu IMAIZUMI) さん (千葉大学)

にご執筆いただきます。